

5 竜法師地区拠点整備計画

(1) 地域ネットワーク形成の基本的な考え方

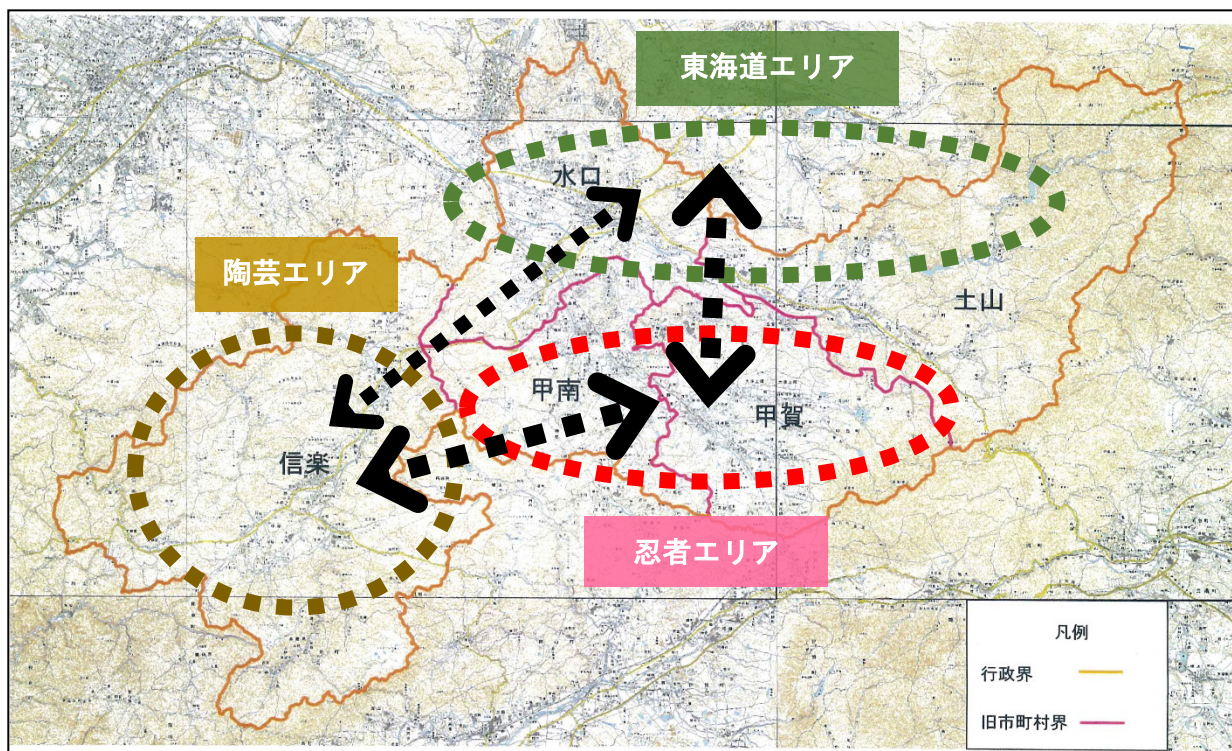
甲賀市は、旧市町である水口、土山、甲賀、甲南、信楽の5地域に区分している。

各地域の特性でエリア区分すると、大きく次の三つに区分される。

- 東海道エリア：水口、土山
- 陶芸エリア：信楽
- 忍者エリア：甲南、甲賀

土山では「田村神社」が年間約36.5万人（平成29年）の観光客があり、信楽では「滋賀県立陶芸の森」が年間約36万人（平成29年）の観光客を集めている。これらの観光客を「忍者を核とした観光拠点」に誘致することが必要であることから、忍者エリアと陶芸エリアの強固なネットワークを構築する。

その他のエリアについても拠点施設整備の波及効果をもたらすことが必要ことから、甲賀市全体の観光振興の視点で積極的なネットワークを形成し、市内周遊観光を図る。



(2) 日本遺産ネットワークを支える主要交通軸

①公共交通（鉄道）

甲賀市の鉄道は、J R草津線、近江鉄道、信楽高原鐵道があり、J R草津線貴生川駅がこれら3鉄道のターミナル機能を有している。

②幹線道路

○新名神高速道路

甲賀市の東西を横断しており、広域集客力を高める主要広域幹線道路である。通過車両から「忍の里プララ」の外観が見えることから、拠点施設への来訪を促す施設整備を行うことが求められる。

○主要地方道草津伊賀線

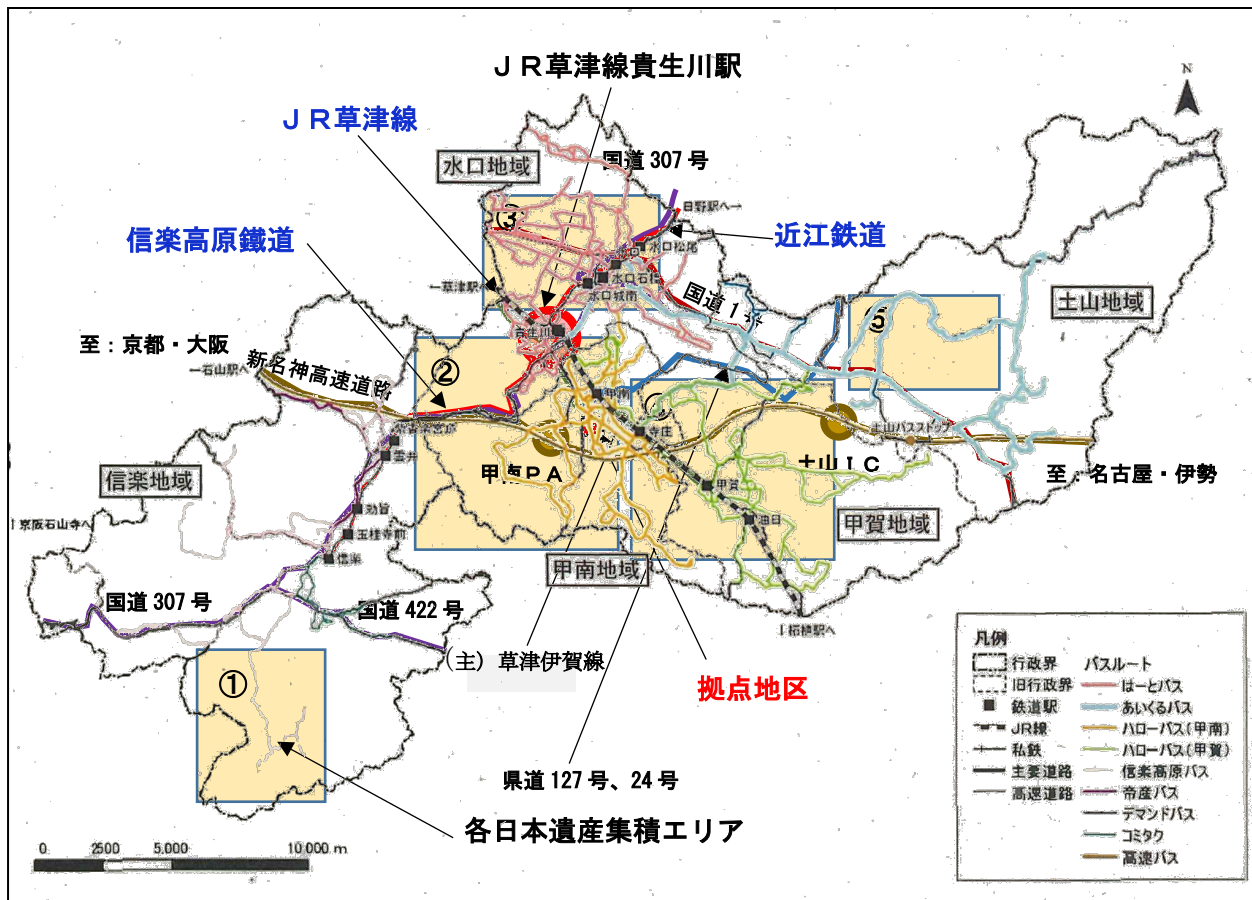
拠点地区の近くを通る幹線道路であり、拠点地区と観光資源とを結ぶ道路であり、特に、「①信楽地区」、「③水口地区」とを結ぶ重要な路線である。

○国道307号

拠点地区から貴生川を経て、「①信楽地区」、「③水口地区」へ通じる幹線道路である。国道307号を西へ行くと京都府京田辺市を經由して大阪府枚方市に通じており、広域幹線道路とも位置付けられる。

○主要地方道草津伊賀線、主要地方道甲賀土山線

拠点地区と「⑤土山地区」を結ぶ幹線道路である。



図中の囲み線①～⑤について【日本遺産のエリア区分】（「参考資料1 現況調査」参照）

- ① 信楽地区 ②、③、④ 水口・甲賀・甲南地区 ⑤ 土山地区

(3) 拠点地区の交通軸

○鉄道

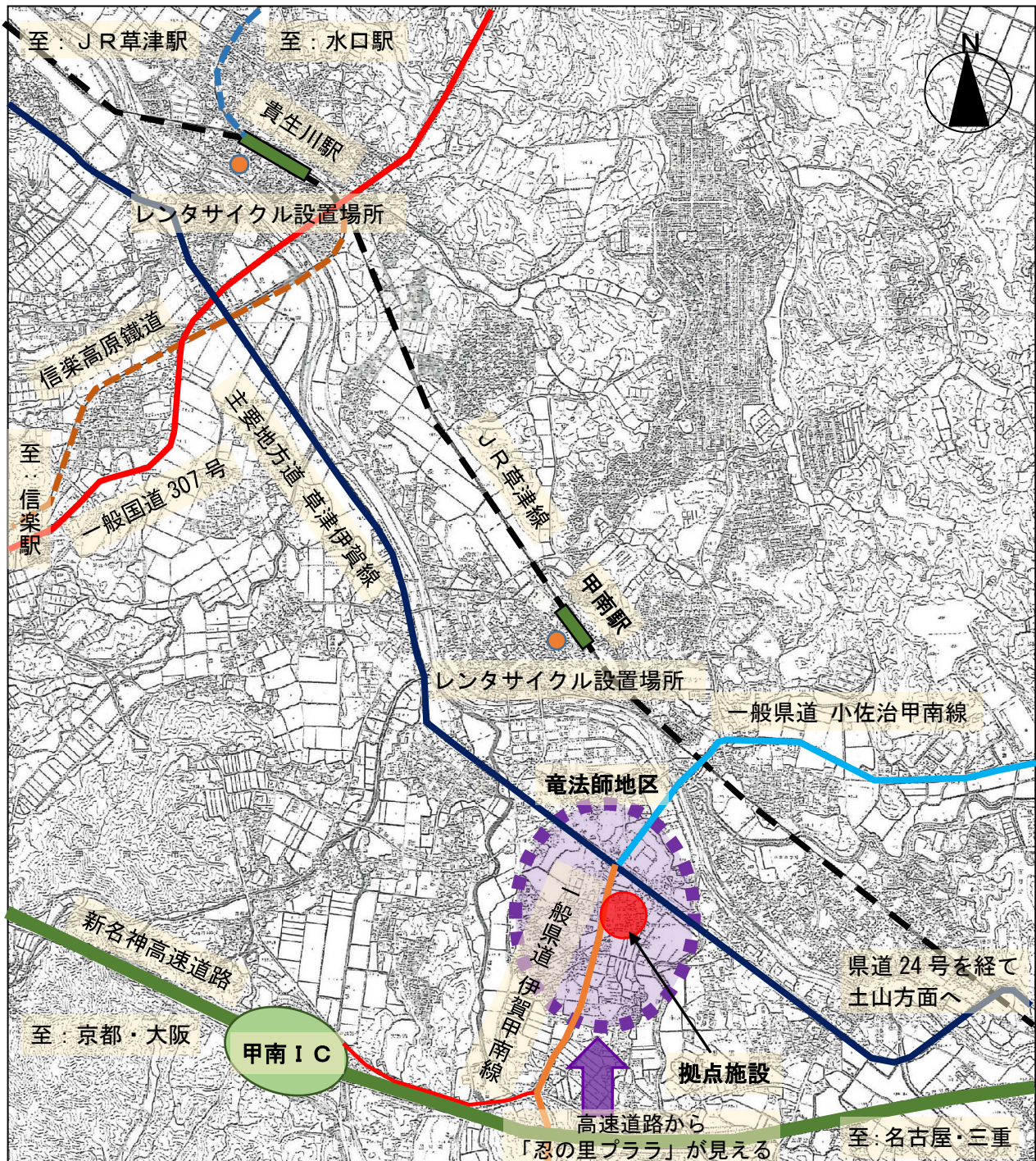
J R 草津線貴生川駅：甲賀市の鉄道のターミナル機能を有する駅で、タクシー等の利用により拠点地区をはじめ市内の観光地への主要公共交通拠点となる。

J R 草津線甲南駅：拠点に最も近い位置にある公共交通拠点であり、「忍の里プララ」へのバスは甲南駅を起点としている。

○道路

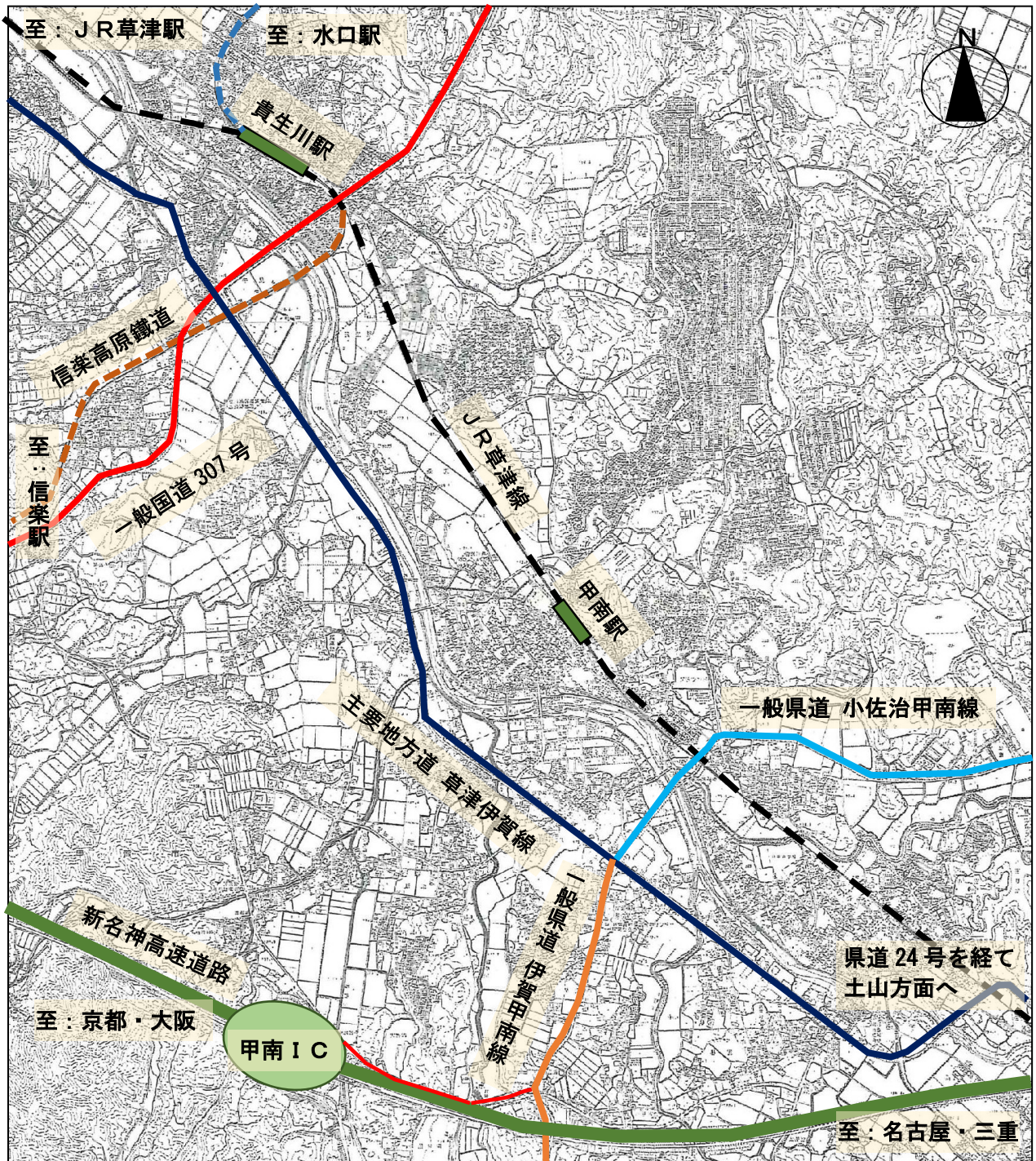
主要地方道草津伊賀線：国道 307 号や貴生川駅、J R 東海道本線草津駅と結ばれており、拠点地区の幹線道路といえる。

県道 127 号、133 号：伊賀や土山からの集客及び波及効果を及ぼす幹線道路である。



【表 交通センサデータ】

路線名	平成27年			平成22年	
	昼間12時間 交通量	24時間 交通量	昼間12時間 ピーク比率	昼間12時間 交通量	24時間 交通量
新名神高速道路 (甲賀土山IC~甲南IC)	23,409	44,717	9.40%	18,870	34,608
新名神高速道路 (甲南IC~信楽IC)	26,115	48,022	9.30%	20,709	36,840
一般国道307号	13,432	17,999	10.20%	12,705	16,389
(主)草津伊賀線	10,126	12,570	10.70%	10,668	13,762
(一)伊賀甲南線	2,307	2,739	10.20%	3,385	4,367
(一)小佐治甲南線	3,516	4,500	15.40%	3,012	3,916



■ 駐車場の需要推計

1) 駐車場の現況等

「忍の里プララ（甲南情報交流センター・甲南公民館）（以下、「忍の里プララ（施設全体）」という。）」専用の駐車場現況は駐車台数 185 台となっている。また、近年最も多くの来訪者があったイベントは、平成 26 年 2 月 21 日（日）に開催された「甲賀流忍者復活祭」で約 5,500 人の参加があった。このとき、多くの参加者が予測されたため「臨時駐車場」が用意された。

これらの規模等は、以下のとおりである。

【表 駐車場（現況）と過去イベント時の臨時駐車場（実績）】

項目	忍の里プララ (施設全体)	臨時駐車場			
		甲南第一地域 市民センター	民間事業者 駐車場	竜法師 公民館	JAこうか
面積	—	7,348.59㎡	2,866.74㎡	1,547.81㎡	2,609.89㎡
台数	185台	220台	30台	15台	60台
		325台			

2) 駐車台数の推計

今後、観光拠点施設の整備推進に当たっては、「忍の里プララ（施設全体）」利用者の状況や観光客の動向を勘案して、新たな駐車場を整備する必要があるため、「忍の里プララ（施設全体）」周辺で新規駐車場を整備するための用地の規模、駐車台数を推計する。

推計に当たっては、将来、施設の目標入込客数（観光以外の利用を含む。）が 10 万人を達成するとき、そして、乗用車を利用しない来訪者が 3 万人（30%、日本人：1 万人、外国人：2 万人）と仮定して、このときに必要とされる駐車台数を推計する。

なお、推計のための原単位等は、先進事例調査（「参考資料 2」を参照）で研修・見学した「忍野 しのびの里」を参考にする。

【駐車原単位の設定】

「忍野 しのびの里」における来訪者と駐車台数の関係は、下表のとおりである。

【表 「忍野 しのびの里」におけるピーク時乗用車同乗者率等】

○駐車場台数：約 200 台（1 日 2 回転程度で稼働）
○年間来訪者数：約 12 万人（うち 7 万人が日本人、5 万人が外国人）
※外国人は観光バスでの来訪を想定する。
○1 日あたり最大来訪者数：1,600 人/日（5 月連休）
○ピーク時来訪者率：1.3% 1,600 人 / 120,000 人 \div 0.0133
○ピーク時日本人（乗用車利用）来訪者数：910 人/日 70,000 人 \times 1.3% = 910 人
○ピーク時乗用車同乗者率：2.3 人 910 人/日 \div (200 台 \times 2 回転) \div 2.3 人

【駐車台数の需要推計（施設利用者年間10万人と仮定した場合）】

①乗用車利用客数

$$10 \text{ (万人)} - 3 \text{ (万人)} \text{ (日本人 10\%、外国人 20\%)} = 7 \text{ 万人}$$

②ピーク時来訪者数（①×1.3%※「忍野 しのびの里」参考）

$$7 \text{ (万人)} \times 1.3 \text{ (\%)} = 910 \text{ (人)}$$

③必要駐車台数（② ÷ (2.3人×2回転) ※「忍野 しのびの里」参考）

$$910 \text{ (人)} \div 4.6 \text{ (人)} \approx 198 \text{ (台)}$$

④駐車場台数（現況）と駐車場台数（需要推計）の差分

$$185 \text{ (台)} - 198 \text{ (台)} = \underline{\underline{-13 \text{ (台)}}}$$

以上から、目標入込客数（観光以外の利用を含む。）を年間10万人と仮定した場合、新たに整備（検討）すべき駐車場台数規模は13台以上と推計された。

一方、平成29年度の多目的ホール利用状況を確認すると、最大利用者数が500人となるイベントが年に3回実施されていた。

【表 平成29年度 甲南情報交流センター（多目的ホール）最大利用者数とその時期】

月	日	曜日	団体区分	部屋名	時間帯	時間	人数
7	16	日	登録その他団体	ホール	午前午後	9	500
8	9	水	市各部局	ホール	午前	4	500
11	18	土	その他団体	ホール	午前午後	9	500

資料：甲南情報交流センター調べ

今後、駐車場整備においては、新たに用地を取得する必要がある、その費用対効果も考慮しなければならない。よって、年間最大利用者数を受け入れられる規模の駐車場を一度に整備するのではなく、他の施設整備に合わせながら、駐車場も段階的に整備する計画とする。なお、整備初期においては、今回の推計や現在の施設利用状況、周辺施設の駐車場規模等を勘案し、下表Aの規模（1,800㎡：約70台）の駐車場整備の検討を進める。

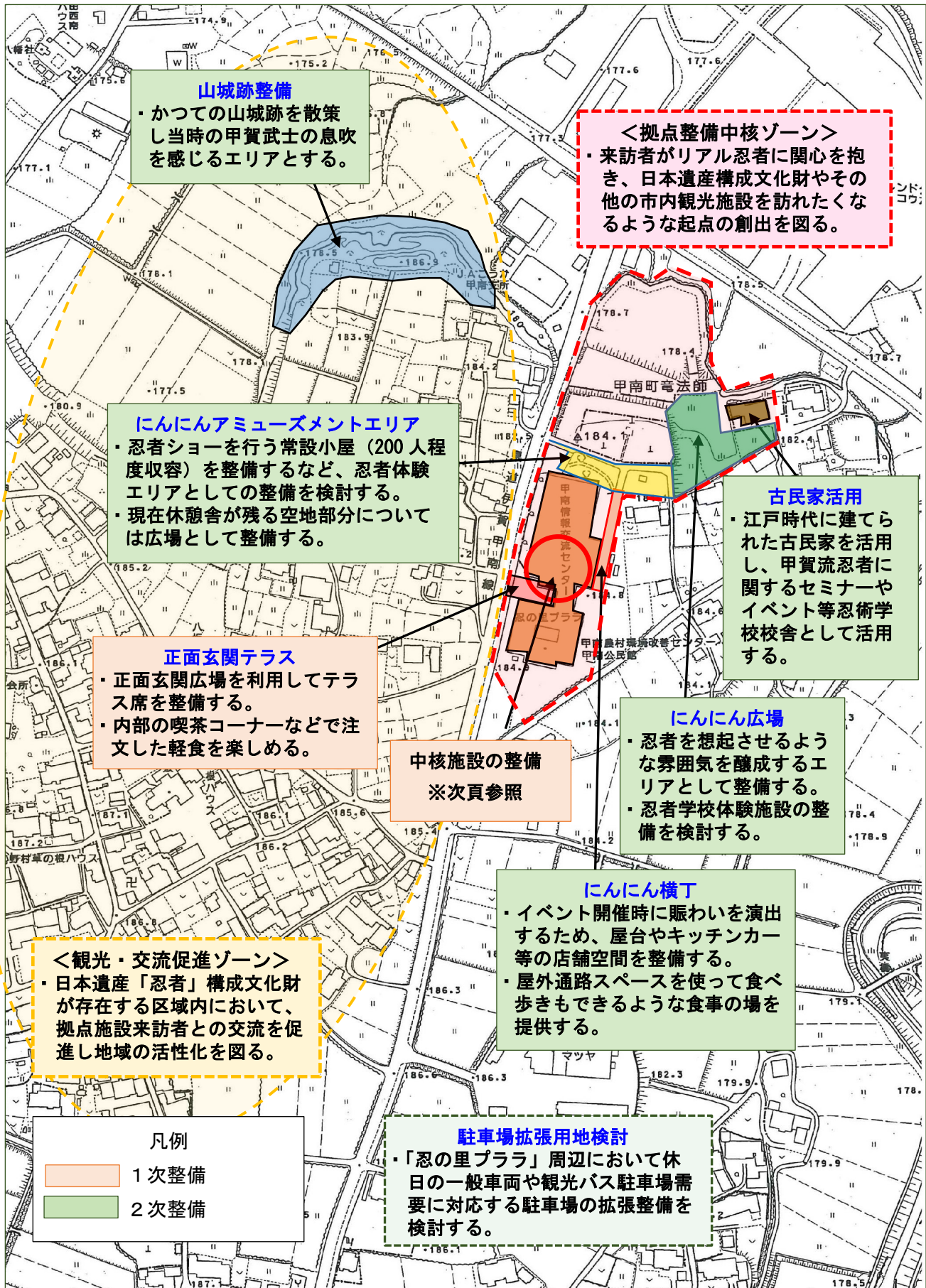
【表 整備初期における駐車台数（想定）】

項目	忍の里プララ (施設全体)	臨時駐車場				駐車場整備検討
		甲南第一地域 市民センター	民間事業者 駐車場	竜法師 公民館	JAこうか	A
面積	—	7,348.59㎡	2,866.74㎡	1,547.81㎡	2,609.89㎡	1,800㎡
台数	185台	220台	30台	15台	60台	約70台
		325台				

※なお、将来的には、臨時駐車場を必要としない状況が望ましいことから、観光客の動向を勘案しながら駐車場の拡大を検討する。

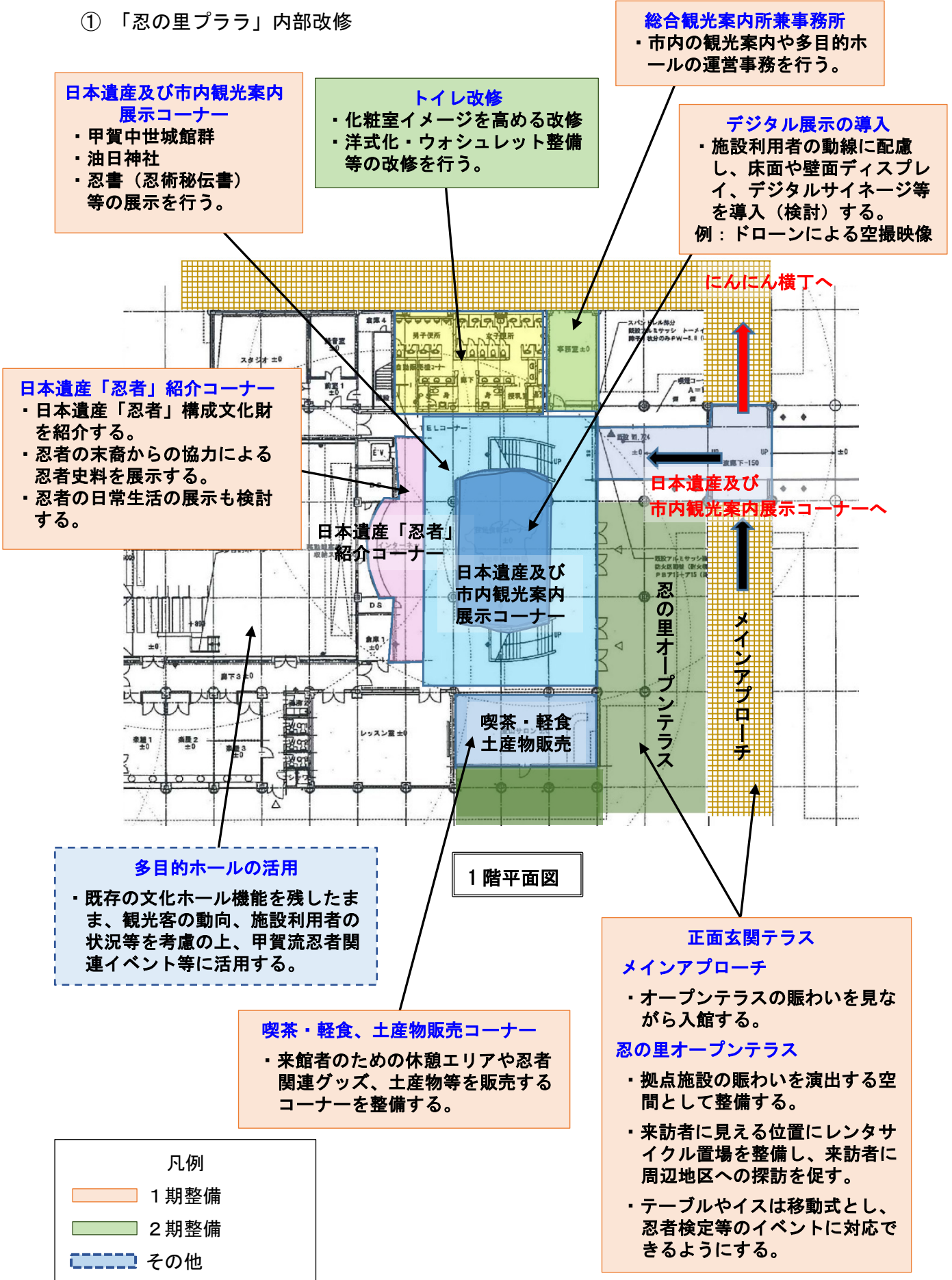
※整備初期における大規模イベント時は、地元周辺施設への協力を仰ぎ、臨時駐車場を設けることを検討する。

(4) 拠点地区周辺のゾーニング計画



(5) 中核施設整備図

① 「忍の里プララ」内部改修

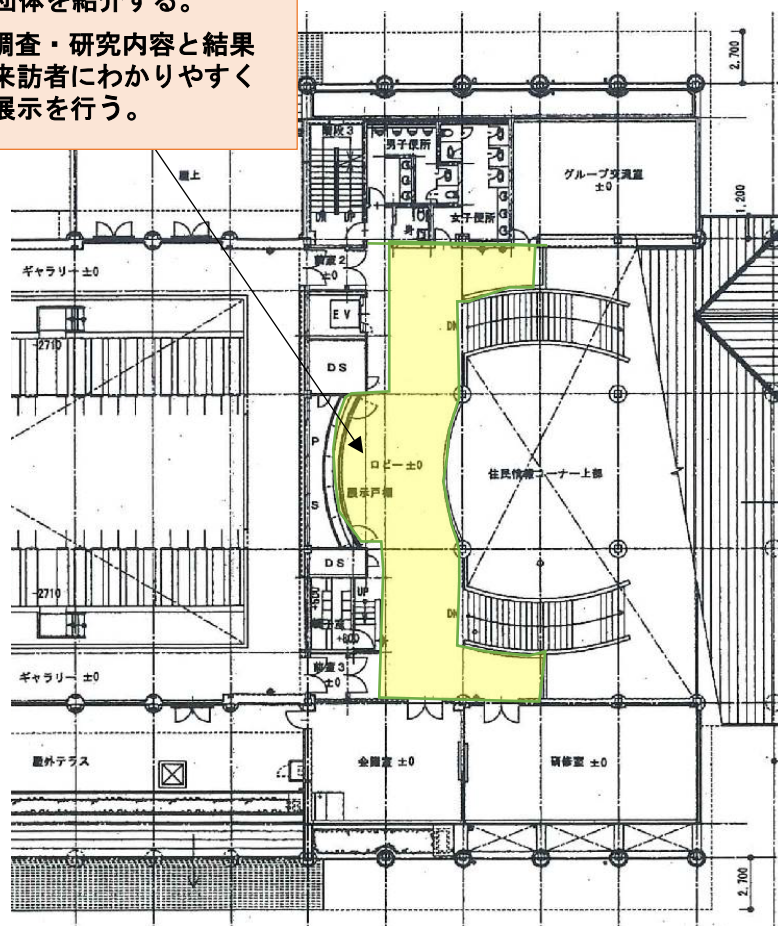


ホワイエ 2 階部分の改修については、多目的ホールや既存の各部屋の利用状況、関係機関との調整、協議した結果に基づき計画することとし、1 次整備において既存室の改修は行わないこととする。

ただし、これまで地元等で甲賀流忍者の歴史や生活などを研究し忍者観光の振興に寄与してきた民間団体等が複数あることから、それらの団体を顕彰するとともに、その成果などを紹介・展示する。これにより、来訪者が忍者をより身近に感じ、周辺の既存施設や市内の観光資源の見学、施設内での体験へと繋げる。

忍者史料展示コーナー

- ・ これまで甲賀流忍者を研究してきた民間団体を紹介する。
- ・ 各団体の調査・研究内容と結果について来訪者にわかりやすく説明する展示を行う。



2 階平面図

2 階部分には 2 次整備以降に、1 次整備段階での来訪者の施設等に関する評価などを踏まえ、従前機能の拡大や新しい機能の整備などを考える。

現段階では、以下のようなアミューズメント性が高い施設の導入が考えられる。

- 忍者図書館
- 参加型映像シアター（デジタルの活用）
- 等の参加型アミューズメント施設